

凡例 太字：優先指標（優先的に指標を設定して評価を行う指標）
 共I（共通指標）：全国共通の指標（同一データ使用）、共II（共通指標（個別データ））：全国共通の指標だが、データは、地域により個別データを提供いただくなどして使用、個（個別指標）：地域の実情に応じて設定する指標・データ（いずれも太字の優先指標のみ）、*ICRI推奨の指標

状態目標（アウトカム）

状態目標A	
将来にわたり、サンゴ礁生態系が健全な状態で維持される	
<サンゴ礁生態系の状態>	
共 A-1	サンゴの被度の経年変化（攪乱からの回復状況/出現状況の変化）
共 A-2	サンゴの被度別分布面積の推移（サンゴ礁生態系の多面的機能の状況）
A-3	サンゴの多様度
共 A-4	サンゴの白化率
A-5	サンゴの病気の状況
A-6	魚類の多様度/現存量*
A-7	藻類・底生生物などの被度*
個 A-8	地域に特異なサンゴ群集/群体の経年変化
<攪乱要因の状態>	
共 A-9	オニヒトデ個体数推移
A-10	サンゴ食巻貝の発生状況推移
個 A-11	赤土等流出の状況
A-12	水質（栄養塩濃度*/BOD/COD）
A-13	海洋汚染の状況（海洋プラスチック、汚染物質等の状況）
A-14	海水温（背景指標）
A-15	海水pH変化傾向（背景指標）
A-16	サンゴ分布域沿岸における開発の状況
A-17	台風の状況

状態目標B

サンゴ礁生態系の恵みを享受できる自然と共生する社会が実現している	
共I B-1	サンゴ礁生態系による恵みの享受（経済的効果）
a	サンゴ礁依存の沿岸性漁獲対象種の資源動向（CPUE）
b	サンゴ礁利用の生業数・雇用効果
c	漁業就業者数（※サンゴ礁を使って行う漁法や漁業に限定）
共I B-2	地元住民の意識（サンゴ礁豊かな海を誇りに思う人の割合）
共I B-3	資金動員/資源動員、活動継続性
a	公的事業等の件数・予算額
b	サンゴ保全活動等への主な基金等の助成件数・金額等
c	サンゴ保全活動等への個人・企業等の寄付の件数・金額
d	活動担い手（垂直展開）

行動目標（アウトプット/ターゲット）

重点課題1	
サンゴ群集及びその保全・再生に関する科学的知見の充実、継続的モニタリング・管理の強化	
1-1	論文数（修復技術、リスク要因、生態系サービスに関する研究）
共 1-2	協議会等における保全に関する情報共有の実施数
共 1-3	海洋保護区の面積（海洋保護区：自然公園、自然環境保全地域、沖合海底自然環境保全地域、鳥獣保護区、保護水面、共同漁業権区域など）
共 1-4	自然共生サイト認定件数
共 1-5	自然再生を行う自治体数
共 1-6	モニタリングや調査を実施している自治体数
個 1-7	保全活動の状況（調査等の参加者/団体数、サンゴの移植/養殖等の参加者数）
個 1-8	食害生物（オニヒトデ/巻貝）の駆除数、駆除参加者数、駆除活動の指導/支援の実施数
重点課題2-1	
陸域から過剰流入する赤土等の土砂、栄養塩、科学物質等の負荷への対策推進	
個 2-1-1	赤土等の土壌流出防止に向けた取組
共 2-1-2	栄養塩類等流出防止に向けた取組（下水道処理人口普及率、浄化槽設置割合等）
2-1-3	化学物質やプラスチック等の削減（海洋ゴミの回収、農業等の削減、生物に影響のない日焼け止め開発など）
指標外	CO2排出量の削減、脱炭素等の行動
重点課題2-2	
サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進	
共 2-2-1	サンゴ礁の保全・活用を含むエコツーリズム推進全体構想の認定団体数
共II 2-2-2	サンゴを対象としたエコツアーガイド/事業所等の認定制度を有する地域の数（保全利用協定会含む）
2-2-3	サンゴの保全に関するマリンレジャーのルールを作成済みの地域の数
重点課題2-3	
地域のくらしとサンゴ礁生態系のつながりの構築	
共 2-3-1	サンゴに関連した地域資源の保全・活用に取組む地域の数および/または事例
共I 2-3-2	学校教育の「総合的な学習の時間」の全体計画・年間指導計画に、サンゴに関する学習を含む地域の数および/または事例
共 2-3-3	サンゴ保全に関する地域認証等に取り組む地域の数および/または事例
共I 2-3-4	サンゴの保全や活用を明記した行政計画を持つ都道府県および市町村の数、計画の数
個 2-3-5	サンゴ保全等を明記した営漁計画等を持つ漁協の割合および/または事例
2-3-6	サプライチェーン等の中でサンゴ礁保全に取り組む企業の数および/または事例

